

こどもDXプロジェクト

プロジェクト の背景

東京デジタル2030ビジョンでは、デジタルの力を最大限発揮し、行政サービスのあり方に大きなイノベーションを引き起こすため「**プッシュ型**」「**垣根を越える**」「**顧客最適化**」の3つの変革に取り組んでいくこととされており、その第一歩として、デジタルとの親和性の高い「子育て世代」への支援を実施する「こどもDX」に取り組んでいます。

子ども・子育てのサービスが“つながる”

こどもDX プロジェクト



東京こどもDX 2025

GovTech東京は、東京都と協働して、

2025年度までに
「**つながる子育て**」をキーワードに、組織や行政の垣根を越えて便利で快適な子育て支援サービスを実現するべく、

4つのプロジェクトに取り組んでいます。

[こどもDXプロジェクト | サービス紹介 | GovTech東京 \(gtttwwwpublicdev.azurewebsites.net\)](https://gtttwwwpublicdev.azurewebsites.net/)

※手続きのワンストップ化やレジストリ・データ連携基盤の構築に向けて、関係団体・民間事業者の皆さまと連携し、都内の区市町村との連携、さらに全国展開等を見据えて関係省庁等とも連携しながら、プロジェクトを推進しています。

[組織の垣根を越えて”子育て分野の行政DX”を推進するGovTech東京『こどもDXプロジェクト』 | GovTech東京公式note \(govtechtokyo.jp\)](#)



WEBサイト
(こどもDX)



GovTech東京公式note
(こどもDX連載)

2025年度までに実現する4つのプロジェクト

2025年度までに「つながる子育て」をキーワードに、組織や行政の垣根を越えて便利で快適な子育て支援サービスを実現するべく、4つのプロジェクトに取り組んでいます。

プッシュ型 子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、知りそびれや申請忘れをなくす

母子保健オンライン サービス（PMH）

デジタル庁が開発した基盤を活用し、マイナンバーカード1つで医療費助成や予防接種を可能に

保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結するワンストップシステムを実現

給付金手続きの 利便性UP

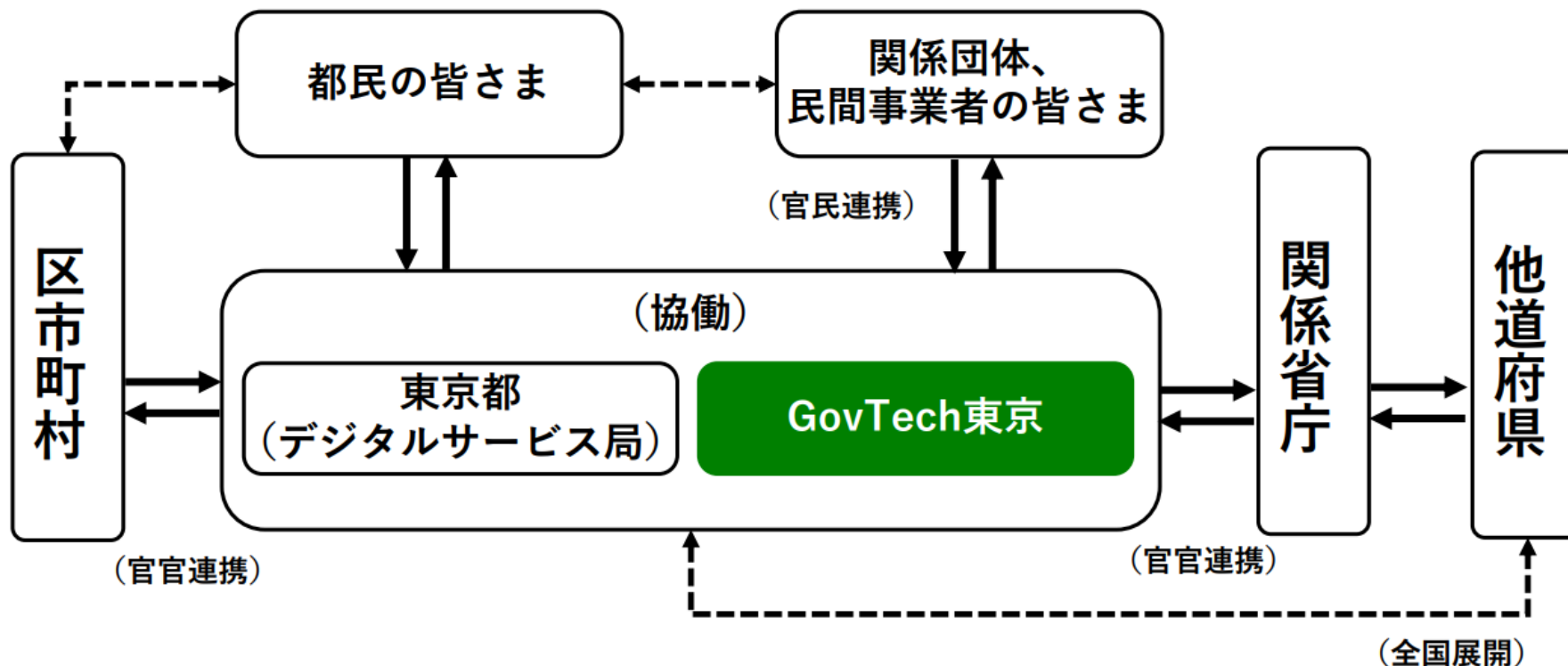
マイナンバーカードでスマホから申請できる仕組みを導入し、ワンスオンリーの徹底や簡単便利で爆速の手続きを実現

GovTech東京の役割、協働・連携体制

GovTech東京 の役割

- ・ デジタルの知見を活用したシステム開発など技術的分野における助言・支援
- ・ 専門的知見からのコンサルティング
- ・ 各種ステークホルダーと調整・連携するプロジェクトマネジメント など

協働・連携 体制



※こどもDXをはじめとして、手続きのワンストップ化やレジストリ・データ連携基盤の構築に向けて、関係団体・民間事業者の皆さまと連携し（官民連携）、都内の区市町村との連携、さらに全国展開等を見据えて関係省庁等とも連携しながら（官官連携）、プロジェクトを推進しています。

【参考】GovTech東京公式noteでの連載「こどもDXプロジェクト」の紹介

【こどもDXプロジェクトとは】

[組織の垣根を越えて”子育て分野の行政DX”を推進するGovTech東京『こどもDXプロジェクト』 | GovTech東京](#)

【東京こどもDX2025つながる子育て推進会議】

[子育て当事者×行政×民間事業者のそれぞれの立場から語る”こどもDX” | GovTech東京](#)

[当事者の声や現場・現地が「つながる」そして次の世代につながるより良いサービスへ | GovTech東京](#)

【2025年度までに実現する4つのプロジェクト】

[子育て支援制度レジストリを通じて「つながる」プッシュ型子育てサービス | GovTech東京](#)

[PMH接続で進む官民データ連携のメリット、母子保健オンラインサービスの実現 | GovTech東京](#)

[DXで負担軽減！保育園探しから入所申請まで、「保活ワンストップ」プロジェクト | GovTech東京](#)

[こども・子育てDXで住民や自治体の時間と手間を軽減！「給付金手続の利便性UP」プロジェクト | GovTech東京](#)

【その他・関連記事】

[行政DXどう進める？こどもDXからはじめた官民連携・DX推進 | GovTech東京](#)

